



PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the
following application as filed with this office.

Date of Application: May 31, 2000

Application Number: Patent Application
No. 2000-161518

Applicant(s): EBIDE, INC.

March 23, 2001

Commissioner,
Patent Office Kozo Oikawa

Certificate No. 2001-3022961

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J11046 U.S. PTO
09/865400
05/25/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-161518

出 願 人

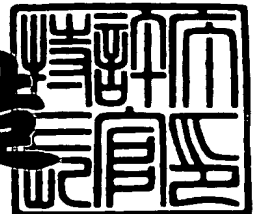
Applicant(s):

株式会社エビデ

2001年 3月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3022961

【書類名】 特許願

【整理番号】 2000G3014

【提出日】 平成12年 5月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00
G06F 9/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区岩本町 3 - 9 - 1 7 株式会社エビデ内

【氏名】 郡 悦郎

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都千代田区岩本町 3 - 9 - 1 7

【氏名又は名称】 株式会社エビデ

【代理人】

【識別番号】 100074099

【弁理士】

【氏名又は名称】 大菅 義之

【電話番号】 03-3238-0031

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 書評データ検索システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 書評のデータベースを有するサーバと該サーバから所望の書評のデータを検索取得するクライアントとがネットワークに接続された書評データ検索システムであって、

前記サーバは、前記データベースに少なくともメディア上で書評又は紹介の対象となった書籍の名称と前記書評又は紹介が掲出されたメディアの名称とをデータとして備え、

前記クライアントからの要求に基づいて、少なくとも前記書籍の名称と該書籍に対する書評又は紹介がメディアに掲出された回数とを前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力することを特徴とする書評データ検索システム。

【請求項 2】 前記サーバは、前記データベースに、更に前記書籍の名称の読み仮名、著者名又は編者名、出版者名、評者名又は選者名、に係わるデータを前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力可能に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 3】 前記サーバは、前記データベースに、更に前記書籍の初版、重版、刷、改訂版等の出版年月、発売元、発行元、形態、I S B N コード、定価、本体価格に係わるデータを前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力可能に備えていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の書評データ検索システム。

【請求項 4】 前記サーバは、前記データベースに、更に前記書籍のジャンル、該書籍の書評又は紹介を掲出した前記メディアのジャンル、発売日、発行日、雑誌コード、前記書評又は紹介の掲出年月次、及び掲出ページ、に係わるデータを前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力可能に備えていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の書評データ検索システム。

【請求項 5】 前記サーバは、前記データベースに、更に前記書籍の内容要約文を前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力可能に備えていることを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 記載の書評データ検索システム。

【請求項 6】 前記サーバは、前記書籍の表紙の図形データを前記クライアン

ト宛に前記ネットワークへ出力可能な図形データベースを備えていることを特徴とする請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の書評データ検索システム。

【請求項 7】 前記サーバは、前記データベースを、前記クライアントから、書評又は紹介を掲出したメディア名、メディアのジャンル、書籍のジャンル、又は書籍の内容を示すキーワードを用いて検索可能に構成していることを特徴とする請求項 4 記載の書評データ検索システム。

【請求項 8】 前記サーバは、前記データベースにおいて前記クライアントによって検索を指定された回数を書評又は紹介を掲出したメディア名毎、メディアのジャンル毎、書籍名毎、書籍ジャンル毎、著者毎、出版社毎又はキーワード毎に計数した結果を前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力することが可能であることを特徴とする請求項 4 記載の書評データ検索システム。

【請求項 9】 前記データベースは、所定期間が経過したものから順次消去されることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5、6、7 又は 8 記載の書評データ検索システム。

【請求項 10】 前記サーバは、書籍毎、書籍ジャンル毎、出版社毎又は著者毎の書評又は紹介がメディアに掲出された所定期間内の回数データを前記書籍毎、前記書籍ジャンル毎、前記出版社毎又は前記著者毎に降順に前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力することが可能であることを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 11】 前記メディアは、雑誌又は新聞であることを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 12】 前記メディアは、テレビ、インターネットのホームページ又は掲示板、又は B S 等であることを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 13】 前記クライアントは、パーソナルコンピュータ、LAN 端末又はモバイル型通信機器であることを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 14】 前記サーバは、前記書籍の名称と共に該書籍の前記メディアに掲出された複数の書評を一覧表示するように前記クライアント宛に前記ネット

ワークへ出力することを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【請求項 1 5】 前記サーバは、複数の前記書籍を前記書評に基づいて分類して一覧表示するように前記クライアント宛に前記ネットワークへ出力することを特徴とする請求項 1 記載の書評データ検索システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、書評データ検索システムに係わり、更に詳しくはネットワーク上において書評や紹介の各種統計データの中の任意の統計データを提供すること或は統計データから導き出された書籍の書評や紹介文または書籍の内容を掲出することにより、読みたい書籍を容易に抽出できる機会が得られるようにする書評データ検索システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、ネットワーク、特にインターネットが広く利用されている。そして、インターネットは、WWWとWebブラウザの登場によって極めて広範囲な情報を伝達する汎世界的なネットワークとして急速に発展している。その発展に伴い、現在では、一般情報を提供する種々のサイトが開設され、また、それらのサイトを検索する検索専門のサイトも開設されている。一般情報を提供するサイトの中には、種々の分野の書籍に関する情報を提供するページを有するものも散見される。

【 0 0 0 3 】

そのような書籍に関する情報を提供しているものには、分野ごとの或は新刊の書籍名、著者名、発行所名を情報化しているものや、書籍名とその書評又は紹介を情報化したものなどがある。

上記の分野ごとの或は新刊の書籍名、著者名、発行所名を情報化しているものでは、それら書籍名、著者名、発行所名以外の情報は目下のところ見当たらない。また、書籍名とその書評又は紹介を情報化したものは、ページ内に出来るだけ多くの書籍名を列記して、その横に極めて簡単な寸評や紹介を掲載した形式のも

のが多く、それら書籍名、寸評、紹介以外の情報は現在のところ見当たらない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、例えば学術書のような専門分野の書籍を捜すとき、或は読みたい題名が予め判明している本を探すときなどでは、最初から目的が明確であるので、分野と書籍名で範囲を絞り、次に内容に目を通して所望の書籍を抽出することで初期の目的はほぼ達成できる。これは実際に書店に足を運ぶ場合でもネットワーク上でクライアントからサーバを検索する場合でも大差ないから、サーバによる上記のような書籍情報の提供方法でも問題は無い。

【0005】

しかしながら、通常、一般の書籍名や書評を検索する場合は、なんとなく読みたい本がないものかと、読みたい本を固定せずに書籍ジャンルや著者名、シリーズ名、出版社名等から探していく場合が多く、そのような場合に、単に書籍名と寸評や紹介のみでは、それらに目を通して選別していく作業が繁雑で時間も掛り、面倒で読みたい本を絞りきれないという不満があった。

【0006】

本発明の課題は、上記従来の実情に鑑み、読みたい書籍を容易に抽出できる書評データ検索システムを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

以下に、本発明に係わる書評データ検索システムの構成を述べる。

本発明の書評データ検索システムは、書評のデータベースを有するサーバと該サーバから所望の書評のデータを検索取得するクライアントとがネットワークに接続された書評データ検索システムであって、上記サーバは、上記データベースに少なくともメディア上で書評又は紹介の対象となった書籍の名称と上記書評又は紹介が掲載されたメディアの名称とをデータとして備え、上記クライアントからの要求に基づいて、少なくとも上記書籍の名称と該書籍に対する書評又は紹介がメディアに掲載された回数とを上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力するように構成される。

【0008】

そして、上記サーバは、上記データベースに、例えば請求項2記載のように、更に上記書籍の名称の読み仮名、著者名又は編者名、出版者名、評者名又は選者名、に係わるデータを上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力可能に備え、また例えば請求項3記載のように、更に上記書籍の初版、重版、刷、改訂版等の出版年月、発売元、発行元、形態、I S B Nコード、定価、本体価格に係わるデータを上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力可能に備え、また例えば請求項4記載のように、更に上記書籍のジャンル、該書籍の書評又は紹介を掲出した上記メディアのジャンル、発売日、発行日、雑誌コード、上記書評又は紹介の掲出年月次、及び掲出ページ、に係わるデータを上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力可能に備え、また例えば請求項5記載のように、更に上記書籍の内容要約文を上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力可能に備え、また例えば請求項6記載のように、上記書籍の表紙の図形データを上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力可能な図形データベースを備えている。

【0009】

また、上記サーバは、例えば請求項7記載のように、上記データベースを、上記クライアントから、書評又は紹介を掲載したメディア名、メディアのジャンル、書籍のジャンル、又は書籍の内容を示すキーワードを用いて検索可能に構成し、また例えば請求項8記載のように、上記データベースにおいて上記クライアントによって検索を指定された回数を書評又は紹介を掲出したメディア名毎、メディアジャンル毎、書籍名毎、書籍ジャンル毎、著者毎、出版社毎又はキーワード毎に計数した結果を上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力し、また例えば請求項10記載のように、書籍毎、書籍ジャンル毎、出版社毎又は著者毎の書評又は紹介がメディアに掲出された所定期間内の回数データを上記書籍毎、上記書籍ジャンル毎、上記出版社毎又は上記著者毎に降順に上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力し、また例えば請求項14記載のように、上記書籍の名称と共に該書籍の上記メディアに掲出された複数の書評を一覧表示するように上記クライアント宛に上記ネットワークへ出力し、また例えば請求項15記載のように、複数の上記書籍を上記書評に基づいて分類して一覧表示するように上記クラ

クライアント宛に上記ネットワークへ出力する。

【 0 0 1 0 】

また、上記データベースは、例えば請求項 9 記載のように、所定期間が経過したものから順次消去されるように構成される。また、上記メディアは、例えば請求項 1 1 記載のように、雑誌又は新聞であり、また例えば請求項 1 2 記載のように、テレビ、インターネットのホームページ又は掲示板、又は B S 等である。また、上記クライアントは、例えば請求項 1 3 記載のように、パーソナルコンピュータ、L A N 端末又はモバイル型通信機器である。

【 0 0 1 1 】

これにより、読みたい書籍を容易に抽出できる機会が得られる書籍データ検索システムが実現する。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。

図 1 は、書評検索システムのブロック図である。同図に示すように、通信ネットワーク 1 には、サーバ 2 - 1 及び 2 - 2 から成るサーバシステムが接続されている。サーバ 2 - 1 (コンピュータ) はプロトコルサーバ (プログラム) で制御され、この制御の下に、文字・数字データ管理サーバ (プログラム) が駆動される。サーバ 2 - 2 (コンピュータ) は図形データ管理サーバ (プログラム) で制御されている。サーバ 2 - 1 及び 2 - 2 は相互に連携して動作する。

【 0 0 1 3 】

そして、サーバ 2 - 1 及び 2 - 2 には、それぞれ記憶装置 3 - 1 及び 3 - 2 が接続されている。記憶装置 3 - 1 には大量の書評データベースが記憶されており、記憶装置 3 - 2 には、上記書評データベースに対応する書籍の表紙の図形データが記憶されている。

【 0 0 1 4 】

尚、本例における書籍にはムック (ブックとマガジンの中間の本の意) も含んでいる。また、掲載と掲出を同様の意味で用いている。

また、上記の通信ネットワーク 1 には、クライアントとしてのパーソナルコン

ピュータ 4 等の宅内配置型の端末装置や、電子手帳 5、携帯電話 6、特には図示しないが超小型コンピュータ等のモバイル型の端末装置、或は LAN 端末等が、電話局 7 を介した電話回線、無線基地局 8 を介した無線回線、人工衛星を介した衛星通信回線、CATV 等によって接続されている。

【0015】

図 2 は、上記の記憶装置 3-1 に格納されている書評データベースの 1 個のレコードのデータ構成を示す図表である。同図に示すように、書評データベースを構成する各個のレコード 9 は、47 項目以上のデータ項目数を有している。先ず、1 番目の「No.」項目にはデータの入力順に付与される番号データが格納される。そして、2 番目から 11 番目までの項目には、書籍の書評や紹介が掲載された新聞、雑誌等のメディアに関するデータが格納される。例えば、2 番目の「掲載誌（紙）のジャンル」項目にはメディアのジャンル区分データ、3 番目の「掲載誌（紙）名」項目にはメディアの名称データが格納される。そして、4 番目から 11 番目までの各項目には、メディアの名称のヨミガナ、発行日、発売日、発行年月次、刊行頻度、出版者、書評又は紹介の掲載ページ、雑誌の場合にその雑誌を特定するや雑誌コード等のデータが格納される

また、12 番目から 30 番目までの項目には、書評や紹介の対象となった書籍に関するデータが格納される。例えば、12 番目から 16 番目までの「ジャンル」、「ジャンル 1」、「ジャンル 2」・・・等の項目にはジャンル区分のデータがそれぞれ格納される。ジャンルの項目が 5 つもあるのは、1 つの書籍が必ずしも 1 つのジャンルに収まるものではなく、1 つの書籍が種々のジャンルに分類される場合があるからである。

【0016】

そして、17 番目から 23 番目までの項目には、書籍の名称、ヨミガナ、編者又は著者名、出版者、出版年月日、発行元等のデータが格納される。また、24 番目から 28 番目までの項目には、発売元・問合せ先、叢書シリーズ掲載書誌名、定価、本体価格、税等のデータが格納される。

【0017】

また、29 番目から ** 番目以上の項目の中には、書籍を特定する書籍の ID

コードの相当する I S B Nコードを格納する「I S B N」項目や、書籍がハードカバー、文庫、新書、C D-R O Mタイプ、電子手帳等で読むネット書籍等の分類を示すデータを格納する「形態」項目、評者又は選者の名前データを格納する「評者・選者」項目、書評や紹介の内容全文の例えばテキストファイル等のデータを格納する「書評紹介文」項目、出版社がサービスで無料公開している書籍の内容要約文を格納する「内容要約文」項目、書籍の表紙の画像データの有無と有る場合のリンク先を示すデータを格納する項目等が含まれている。

【0018】

上記いずれの項目も、更にデータが文字列からなるデータであるか、数値からなるデータであるか、或は手作業の入力による基本データであるか、プログラムによる演算によって生成されるデータであるか等のデータの属性を示すデータを格納するデータ領域を上記の各項目名毎に有している。

【0019】

また、記憶装置3-2には、特には図示しないが、例えば拡張子が g i f、j p g、m a g、p c x、b m p 等で表わされる画像ファイルからなるデータベースが格納されている。この画像データベースの有無を認識するための画像チェック項目等も上記のレコード9には備えられている。

【0020】

図3は、上記のレコード9のデータを作成する作業手順を示すフローチャートである。同図に示すように、先ず、ステップ1として、新聞、雑誌、インターネットのホームページのURLを収集する。この作業では、可能な限りあらゆる種類の新聞、雑誌、URLを収集する。

【0021】

次に、ステップ2として、上記収集した雑誌や新聞の各ページを調べて、書籍についての書評が掲載されている或は書籍を紹介している（以下、単に書籍紹介という）ページをチェックする。この作業は、例えば書籍紹介を掲載しているページを探し出してそのページにポストイットを貼り付けてマークする等の作業である。

【0022】

続いて、ステップ3として、その雑誌や新聞のマークされている書籍紹介ページのコピーを取り、ステップ4として、その書籍紹介ページのコピーを地方在住のオペレータに発送する。このコピーの発送相手先であるオペレータは、別段、地方在住と限るものではなく、次に述べる作業ができる者であれば在住地はどこでもよく、また老若男女を問うものではない。

【0023】

次に、ステップ5として、オペレータは、受け取った書籍紹介のコピーに基づいて所定の基礎データを所定のフォーマットでパーソナルコンピュータ（以下、単にパソコンという）又はワードプロセッサ（以下、単にワープロという）上のデータファイルに入力する。このデータ入力では、図2に示すレコード9の1番目の項目～10番目の項目、16番目の項目～30番目の項目、32番目の項目～34番目の項目等のデータが入力される。図2に示すレコード9の図示を省略した属性データ格納領域には、対応する項目のデータがオペレータによって入力されるものであることを示すデータ入力領域が設けられている。

【0024】

上記の後、ステップ6として、オペレータが入力した基礎データを、予め指定されているチェックマンに電送する。この電送には、ファクシミリ、パソコン通信、電子メール等が含まれる。この、チェックマンも、以下に述べる作業ができる者であれば在住地はどこでもよく、また老若男女を問うものではない。

【0025】

次に、ステップ7として、上記の電送を受けて、チェックマンは、先ず、上記の基礎データが誤って入されていないか否かを、出版社のホームページや図書館のホームページを参照して、チェックする。更に、ステップ8として、上記のチェックマンは、書名別、著者別、ISBNコード別等のデータについても、正しいか否かのチェックを行う。図2に示すレコード9の図示を省略した他の属性データ格納領域には、対応する項目のデータがチェックマンによってチェックされるものであることを示すデータ入力領域が設けられている。

【0026】

そして、ステップ9として、上記チェックの終了した基礎データが上記サーバ

2を運営する本社に発送される。このデータの発送は、郵便、宅配、電送いずれでもよいが、時間的に早いものが最適であるこはいうまでもない。

ステップ10として、チェックマンから基礎データを受け取った本社側では、所定の担当者が、先ず、未入力項目についてデータ入力する。この未入力項目は、例えば「書評本文」項目に格納する書籍紹介文の本文データや、記憶装置3-2に格納する書籍の表紙画像データなどである。これらのデータは、書評を執筆した評者や書評を掲載したメディア編集者からの許可、及び書籍出版社からの許可に基づいて、出版社のホームページから又はその他の方法で入手する。

【0027】

更に、図3のフローチャートには図示していないが、本社の担当社はオペレータによって入力された項目のうち、チェックマンのチェックから外されていた項目について誤りが無いかどうかチェックする。図2に示すレコード9の図示を省略した更に他の属性データ格納領域には、対応する項目のデータが本社の担当社によってチェックされるものであることを示すデータ入力領域が設けられている。

【0028】

そして、ステップ11として、このようにしてチェックが完了したレコード9を記憶装置3-1の書評データベース及び記憶装置3-2の画像データベースに追加する。これにより、サーバ2-1のホームページに新たな書評データが掲載可能になる。尚、ここでは、サーバ2-1のサイトのトップページ（本来のホームページ）とこのトップページにリンクする各ページを含めてホームページということにする。

【0029】

続いて、パーソナルコンピュータ4、電子手帳5、携帯電話6等のクライアントから、通信ネットワーク1を介してサーバ2にアクセスした際の、クライアントの表示装置の画面上に表示される書評データベースの動作状態を説明する。この動作はサーバ2（2-1、2-2つまりコンピュータ）のサーバ（各サーバ・プログラム）とクライアントのブラウザによって動作する。例えば通信ネットワーク1がインターネットであれば、サーバはWWWサーバ（ウェブサーバ）で

あり、ブラウザはネットスケープコミュニケーターやインターネットエクスプローラ等のWWWブラウザ（ウェブブラウザ）である。

【0030】

図4は、クライアントが上記のようなブラウザを起動してサーバ2-1にアクセスしたときにおけるサーバ2-1のトップページからリンクによってページが変化していく概略の流れを示す図である。同図の示すようにトップページ10からは、このトップページ10を親ページとして複数の子ページがリンクしており、それらの子ページとして、本の評判11、CDの評判12等が用意されている。この他にも、需要に応じて、ビデオの評判、演劇の評判、映画の評判等の子ページが開設される。

【0031】

尚、子ページの「本の評判」や「CDの評判」等の表題は時流に応じて変更されることは言うまでもない。

以下、分かり易く説明するために、上記のトップページ10の特には図示しない画面上に表示された操作ボタン（勿論、ボタンではなく適宜のアイコンであっても良い）をクリックして、子ページの「本の評判」11が選択されたものとして説明する。この本の評判11のページには多数の孫ページ11-1、11-2、11-3、・・・がリンクしている。

【0032】

図5は、上記の本の評判11のページの表示の一例を示す図である。同図に示すように、画面右方には子ページのトップページとして目立つような適宜のレイアウト（同図の例では男女二人の人物がそれぞれ読書している所）11aと、その下に、このページの題名「本の評判」を大書したイラスト11bが表示され（以下、クライアントの表示画面に表示されることを単に表示という）、画面左方には上から下まで孫ページ選択用の操作ボタン11c、11d～11kが表示されている。

【0033】

同図に示す例では、このサーバ2-1の書評データベースを検索して得られる情報の3つの選択用操作ボタン11c、11d、及び11eが上から縦にそれぞれ

れ「新聞雑誌名検索」、「書籍ジャンル検索」および「キーワード検索」と並んでおり、更にその下に他のサービスとして種々の内容の選択用操作ボタン 11 f ~ 11 k が縦に並んでいる。

【0034】

これらのうち、選択用操作ボタン 11 f ~ 11 j には、例えば新刊書案内、具体的な書籍の内容（例えば最初の 3 ページ等）、雑誌の発売日、書籍に対する投票された意見の表示、アンケートの為の入力ページ等が対応している。最後の選択用操作ボタン 11 k は、同図の例では「本の評判の程度」となっている。尚、これらの選択用操作ボタン 11 c ~ 11 k に対応する上記の内容は、ときに応じて変更されるものである。

【0035】

先ず、上記表示の順序とは逆になるが、選択用操作ボタン 11 e が押された場合の上記キーワード検索の処理方法について説明する。

図 6 は、クライアントによって上記「本の評判」のページのキーワード検索の選択用操作ボタン 11 e が押された（クリックされた、以下同様）場合の、以後の画面操作とその画面操作に対応する表示の流れを説明するフローチャートである。

【0036】

図 7 (a), (b)、図 8、図 9 及び図 10 は、上記表示の例を示す図である。

上記のキーワード検索では、先ず、図 6 に示すように、ステップ S 1 の書籍名検索のキーワード入力、ステップ S 2 の著者名検索のキーワード入力、ステップ S 3 の出版社名検索等のキーワードが用意されている。ステップ S 4 以下には例えば評者名などが対応する。

【0037】

この表示では、例えば図 7 (a) に示すような画面が表示される。すなわち、この表示画面では、図 7 (a) に示すように、書名の入力窓 15、著者名の入力窓 16、出版社名の入力窓 17 が表示される。同図(a) では図示を省略しているが、出版社名の入力窓 17 の下方には、更にステップ S 4 以下に対応する入力窓が表示される。また、特には図示していないが、他に、検索実行のためのボタン（例

例えば「次へ」ボタン)、訂正のためのボタン(例えば「クリア」ボタン)、トップページに戻るためのボタン(例えば「戻る」ボタン)等の入力ボタンも表示されている。

【0038】

上記書名の入力窓15には読みたい書籍のおおよその題名を入力する。例えば明日に関する本を読みたいと思うときは「明日」を入力する。また著者名を入力窓16には、クライアントに著者の好みなどがあるときに好みの著者の名前を入力する。同様に出版社名を入力窓17には、出版社の傾向等にクライアントの好みがあるときに好みの出版社の名前を入力する。いずれか1つだけの入力でもよく、いずれか2つの入力でもよく、3つ全部を入力してもよい。入力されたキーワードはANDキーとして採用される。

【0039】

このキーワードの入力が終了したことを示すために、つまり検索を開始させるために「次へ」のボタンを押すと、図6に示す表示処理H1の書籍一覧の表示処理が実行される。この表示処理では、書籍データベースから書籍の書名あるいは副書名の中に上記の「明日」のキーワードを含む全ての書籍のレコード9(図2参照)が検索されて抽出される。そして、この抽出されたレコード9に基づいて、例えば図7(b)に示すような書籍一覧18が表示される。この書籍一覧18は、書籍名、著者(编者)、出版社、書籍ジャンル、掲載数(掲出数)、形態、マーク、及び表示ボタンの欄からなる。

【0040】

上記書籍名の欄には、図7(b)に示すよう、同図(a)の書名を入力窓15に入力されたキーワード、例えば本例では「明日」が入力されており、この「明日」のキーワードに基づいて、例えば、迷う明日、明日の歴史、昨日・今日・明日、明日を拓く、明日が信じられない、明日を撃つ、などの書籍名が表示される。

【0041】

また、著者(编者)の欄には、書籍名の欄に表示された書籍の著者又は编者(以下、単に著者という)の名前が表示される。同図(a)で著者名を入力窓16に著者名が入力されていれば、同図(b)の著者(编者)の欄には同一の著者名の

みが表示され、同図(a)で著者の入力窓16に著者名が入力されていないときは、同図(b)の著者(編者)の欄には、書籍名の欄の書籍に対する著者名が例えば、□野△夫著、×原○子著などに表示される。

【0042】

また、出版社の欄には、出版社の名前が、例えばAA社、BB書店、CC書房、DD舎、EE出版社などに表示される。書籍ジャンルには後述する図12に示す書籍ジャンルが表示される。掲載数の欄には、書籍名の欄の書籍に対する書評が雑誌、新聞、テレビ、インターネットのホームページ又は掲示板、又はBS等(以下、特に必要でない限り代表的に単に雑誌という)のメディアに掲載された回数が、例えば「1」、「8」、「1」、「9」、・・・というように表示される。

【0043】

また、形態の欄には、書籍の形態としてハードカバー、文庫、新書、CD-ROMタイプ、電子手帳等で読むネット書籍等の分類を示す表示がなされるようになっている。また、マーク欄には、数字または記号が表示される。ここに表示される数字または記号によって、ユーザに対してどのようなサービスが用意されているかが分かるようになっている。

【0044】

ここで、クライアントが例えば、「AA社」出版の「□野△夫」の「迷う明日」の書評が11回もどこかの雑誌等に掲載されていることに興味を抱いて、その「迷う明日」の行の右端の表示ボタンを押すと、図6に示す表示処理H2の「掲載新聞・雑誌一覧」の表示処理が実行される。この掲載新聞・雑誌一覧の表示処理では、書評を掲出した雑誌等のメディアを詳細に示す図8に示す掲出新聞・雑誌一覧19が表示される。

【0045】

この図8に示す掲載新聞・雑誌一覧19の表示は、書評の「掲出メディア」、「掲出日」、「評者」、「書評」の欄からなる。掲出メディアの欄には上記の例では「迷う明日」の書評が掲出されたメディア名が例えばFF新聞、GGマガジンなどに表示される。

【0046】

また、掲出日の欄には、雑誌や新聞であれば掲載月号が例えば2000年1月6日号、2000年1月号などと表示され、テレビ、インターネットのホームページ又は掲示板、又はBS等であれば、放映又は掲出された年月日時間等が表示される。

【0047】

また、評者の欄には、書評の評者名が例えば◎川○男、△寺×次郎などと表示される。そして、書評の欄には選択（抽出）されている「迷う明日」の本の内容の書評や紹介がデータベースに有るか否かを表示する。

ここで、例えば、1行目のFF新聞の行のどこかを指定して（例えば掲出メディア名である「FF新聞」）を押すと、図6に示す表示処理H3の「書籍情報と書評・書籍紹介文の表示」の処理が実行され、図9に示すように、書籍と書評の詳細表示20が表示される。

【0048】

この書籍と書評の詳細表示20の表示では、上段欄20-1に書籍名が大きく表示され、次段から9段目まで狭い行から成る中段欄20-2には、著者（编者）名、出版社名、書籍の税別価格、ISBNコード、書籍の形体、シリーズ名、マーク、評者名、その書評の掲載誌（紙）名、書評の掲載号、書評の掲載ページが表示される。

【0049】

そして、下段は左欄20-3と右欄20-4に分かれ、左欄20-3には、この書籍の表紙の画像が表示され、右欄20-4には、出版社から提供されている書籍の内容の要約文が表示される。更にこの表示画面の下に続けて上記選択されたFF新聞に掲載された書評の内容が、当該書評の評者又は書評の掲載誌（紙）の許可に基づいて表示される。

【0050】

また、図9の画面には、特には図示しないが「書評一覧」ボタンが用意されており、この「書評一覧」ボタンを押すと図6に示す表示処理H4の「掲載された全ての書評一覧」の表示処理が実行される。

この表示処理 H4 の表示処理は、図 10 に示すように、まず、選択された書籍の、書名、著者（編者）出版社、価格、ISBN、形態、シリーズ名、マーク、表紙画像等の、その書籍の属性が表示され、更にその下方に、当該書籍に対してなされた図 8 に示す全ての書評が一括してスクロール表示可能なように表示される。同様にこの場合も表示される書評の評者又は書評の掲載誌（紙）の許可に基づいて行われる。

【0051】

このように、例えば、書評の掲載数が多いものを基準とし、その中から興味を持ってそうな本を選択して、その書評を全て読むことができ、これによって、その書籍を購入するか否かを決めることが容易にできるようになる。

次に、図 11 は、クライアントによって「本の評判」のページの書籍ジャンル検索の選択用操作ボタン 11d が押された場合の以後の画面操作とその画面操作に対応する表示の流れを説明するフローチャートである。

【0052】

そして、図 12 は、上記の書籍ジャンル検索の動作フローで用いられる書籍ジャンル表示の例を示す図である。

この書籍ジャンル検索では、先ず、図 11 に示すように、表示処理 H11 の「書籍ジャンル一覧」の表示処理が実行される。この表示処理では、図 12 に示すように、書籍の多数のジャンル 21 が表示される。この例ではジャンル 21 は、あいうえお順ではなく、内容的に似たような傾向、例えば硬い内容、学研的な内容、幼児向けの内容、等によってグループ化して並べて表示するようにするとクライアントにとって選択しやすくなる。

【0053】

図 12 に示すように、ジャンル 21 の表示は、左右の欄に分け、左欄には「医学・医療・病気」から始まり、次の「エッセイ・対談」～「自然科学・地理・宇宙」、「百科事典・全集」と続き、更に図示していない下方へ同様の傾向を持つジャンルが続いている。また、右欄には「動物・ペット」から始まり、次の「絵本・児童書」～「詩・和歌・俳句」、「結婚・・・」と続き、更に図示していない下方へ同様の傾向を持つジャンルが続いて表示されている。

【0054】

ここで、例えば左欄の最初のジャンル「医学・医療・病気」を選択してクリックすると、図11に示す表示処理H12の「書籍一覧」の表示処理が実行される。この「書籍一覧」の表示処理は図6の表示処理H1の「書籍一覧」の表示処理と同一であり、図7(b)に示したと同様の書籍一覧表示18が表示される。但し、この書籍ジャンルの選択によって表示される場合は、例えば上記の「医学・医療・病気」のジャンルに分類されている全ての書籍のレコード9が書籍データベースから検索されて抽出され、この抽出されたレコード9に基づいて書籍一覧表示18が表示される。

【0055】

したがって、図7(b)に示した書籍一覧表示18の書籍名の欄には、例えば「・・・の精神科医」、「エイズ治療薬」、「アトピーの話」、「インフルエンザとウイルス」、「ウイルスの脅威」というように、「医学・医療・病気」のジャンルに関係する題名の書籍が表示される。また、この場合は「書籍ジャンル」は当然ながら表示されない。

【0056】

ここで、書籍名の欄の任意の書籍名に対応する行の表示ボタンを押すと、図11に示す表示処理H13の「掲載新聞・雑誌の一覧」の表示処理が実行される。この表示処理は、図6の表示処理H2の処理と同一であり、上記の表示ボタンによって選択された書籍の書評が掲出された図8に示した掲載新聞・雑誌の一覧19と同様の表示が行われ、掲出メディア、掲出日、評者、書評等のデータが一覧表示される。

【0057】

この後続く表示処理H14の「書籍情報と書評・書籍紹介文の表示」の表示処理も、図6の表示処理3の表示処理と同一であり、また、図11の表示処理H15の「掲載された全ての書評一覧」の表示処理も図6の表示処理H4の表示処理と同一である。このように、書籍のジャンルの選択から始めても、キーワード検索の場合と同様に最終の表示画面である図9に示す書籍と書評の詳細表示20を表示させることができる。

【0058】

図13は、クライアントによって「本の評判」のページの新聞雑誌名検索の選択用操作ボタン11cが押された場合の以後の画面操作とその画面操作に対応する表示の流れを説明するフローチャートである。

図14(a),(b)～図16(a),(b)は、それぞれ新聞雑誌名検索の動作フローの中で用いられる表示の例を示す図である。

【0059】

先ず、この新聞雑誌名検索では、図13に示すように、表示処理M1の「新聞・雑誌・HPのURLジャンル一覧」の処理と「50音一覧」の処理が実行される。この処理では、例えば図14(a),(b)に示す表示が行われる。図14(a)は、新聞・雑誌・HPのURLジャンルから検索する場合の表示例を示す図であり、新聞・雑誌・HPのURLの多数のジャンルが「総合週間誌」、「一般総合誌」、・・・、「女性ファッション誌」、・・・、「自然科学・社会科学」、・・・、「生活・育児・教育・料理」・・・というように表示される。

【0060】

そして、この表示と共に、この表示の横又は下に、例えば図14(b)に示す表示が行われる。この図14(b)は、新聞・雑誌・HPのURLの名前の頭文字から検索する場合の表示例を示す図であり、50音の各列の最初の文字「あ、か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ」が表示される。

【0061】

ここで、例えばクライアントが図14(a)の新聞・雑誌・HPのURLジャンル一覧の先頭の「総合週刊誌」のジャンルをクリックすると、図13の表示処理M3の「新聞・雑誌・HPのURL名一覧」の表示処理が実行される。この表示処理では、特には図示しないが、表示のページが変わって、現在主たるものだけで12種類ほどある国内の総合週間誌の名前が一覧表示される。先頭の「総合週刊誌」だけでなく、他のジャンルの表示をクリックした場合も同様の処理が実行され、クリックされたジャンルに応じた、すなわちそのジャンルに分類されている新聞または雑誌の名前が一覧表示される。

【0062】

また、新聞や雑誌あるいはHPのURLの名前から検索したい場合は、「あ、か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ」のいずれか一つをクリックする。例えば「あ」をクリックすると、同様に表示処理M3の「新聞・雑誌・HPのURL名一覧」の処理が実行され、この場合は、名前の頭文字が「あ」、「い」、「う」、「え」、又は「お」で始まる新聞と雑誌とHPのURLの名前が全て一覧表示される。ここで、一覧表示された新聞、雑誌又はHPのURL名の中からいずれか1つの新聞、雑誌又はHPのURLの名前をクリックすると、図13に示す表示処理M4の「書評掲載号一覧」の処理が実行される。この処理では、図15(a)に示すように、クリックされた新聞、雑誌又はHPのURLの名前と月号又は掲出日が一覧表示した書評掲載号一覧表示22が表示される。

【0063】

同図(a)に示す例では、書評掲載号一覧表示22には、上記クリックされた例えば週刊誌の名前「週間××」が表題として表示され、その下方に、何らかの書籍の書評を掲載した月号が上から下へ、新しい月号から古い月号へ「2000年03月26日号」、「2000年03月19日号」、・・・、「1999年12月05日号」と一覧表示される。また、HPのURLであれば、表題にはURLページの表題が表示され、その下方に書評の掲出日が表示される。

【0064】

そして、上記の図15(a)の書評掲載号一覧表示22の表示例で、例えば先頭の「2000年03月26日号」の掲載号を選択すると、選択されたことが丸ボタンの中に点として表示され、この選択を確認クリックすると、図13の表示処理M5の「書評が掲載された雑誌一覧」の表示処理が実行される。この表示処理では、図15(b)に示すように、同一雑誌の同一月号に書評を掲出された書籍の一覧表示である書籍一覧23が表示される。

【0065】

ここでは、選択された新聞、雑誌、HPのURL（この例では週間××）の選択された月号（この例では2000年03月26日号）に掲載されている全ての書評の対象となった全ての書籍のレコード9が、書評データベースから検索されて抽出され、この抽出されたレコード9に基づいて書籍一覧表示23が表示され

る。

【0066】

同図(b) に示す例では、先ず上段に選択されているメディア名が「週間××」と表示され、次段に選択されている月号が「2000年03月26日号」と表示され、その下方に、書籍名、著者（编者）、出版社、書籍ジャンル、形態、及びマークの各欄からなる表示枠が表示されている。表示枠の書籍名の欄には、題名の共通性やジャンルには関係なく、上記週間××の上記2000年03月26日号の各書評で取り上げられた書籍名が一覧表示される。同図の例では、最初の段の書籍名欄には「今年の△△」と表示されており、著者（编者）欄には「□□△△著」と表示されており、出版社欄には出版社名が「BB社」を表示されており、書籍ジャンル欄には「詩・和歌・俳句」と表示されている。

【0067】

そして、マーク欄には何も表示されていないが、ここには、プレゼントが用意されているときや立ち読みが可能なときに、その旨が表示される。

ここで、所望の書籍名をクリックすると、図13の表示処理M6の「書籍情報と書評・書籍紹介文の表示」の表示処理が実行される。この表示処理M6の処理は、図6の表示処理H3及び図11の表示処理H14の「書籍情報と書評・書籍紹介文の表示」の処理とやや似ており、図9に示した書籍と書評の詳細表示20とほぼ同様の画面である図16(a) に示す書籍と要約の詳細表示24の表示を行う。

【0068】

この書籍と要約の詳細表示24も、書籍と書評の詳細表示20の場合と同様に上段欄24-1に書籍名が「今年の△△」と大きく表示され、次段から9段目まで狭い行から成る中段欄24-2には、著者（编者）名、出版社名、書籍の税別価格、ISBN番号、書籍の形体やシリーズ名、マーク、評者名、その書評の掲載誌（紙）名、書評の掲載号、書評の掲載ページが表示される。

【0069】

また、下段は左欄24-3と右欄24-4に分かれて、左欄24-3にこの書籍の表紙の画像を表示し、右欄24-4に出版社から提供されている書籍の内容

の要約文を表示するところまでは、書籍と書評の詳細表示 2 0 の場合と同様である。

【 0 0 7 0 】

そして、この書籍と要約の詳細表示 2 4 では、この表示画面の下に各メディアの書評の内容が一覧表示されるのではなく、抽出されている週間××の 2 0 0 0 年 0 3 月 2 6 号に掲載の書評のみが表示される。そして、図 9 の書籍と書評の詳細表示 2 0 の場合と同様の「書評一覧」ボタンと、この他に、このページ特有のもう一つのボタンである「同書検索ボタン」 2 5 が表示される。

【 0 0 7 1 】

ここで「書評一覧」ボタンを押した場合は図 6 又は図 1 1 の場合と同様に、図 1 3 に示す表示処理 M 9 の「掲載された全ての書評一覧」のスクロール表示が可能な表示処理が実行される。

一方、「同書検索」ボタン 2 5 を押すと、上記選択された月号以外の月号、及び上記選択された週間××以外のメディアに、同一書籍の書評が掲載されたか否かがサーバによって書評データベースの検索が行われ、この検索に基づき同一書籍の書評の掲載が他に無ければ表示処理 M 8 の「同書なし表示」の処理が行われる。また、他にあれば、表示処理 M 7 の「同一書籍一覧表示」の処理が行われる。この処理では、図 1 6 (b) に示す同一書籍一覧 2 6 が表示される。

【 0 0 7 2 】

この同一書籍一覧 2 6 の表示では、上段にはここで既に選択されている書籍名「今年の△△」が表示され、その下に、掲載誌、掲載号、評者、書評の各欄からなる同一書籍に関する一覧表示が成される。ここで、クライアントが所望の掲載誌名をクリックすると、図 1 3 の表示処理 M 6 の処理が行われて再び図 1 6 (a) と同様の表示に戻る。但し、この場合は、「書評一覧」ボタンを押して、その中から所望の評者又は出版社による書評を見出して鑑賞することができる。

【 0 0 7 3 】

尚、本発明の書評データベースにおいては、上述したような図 5 の選択用操作ボタン 1 1 c、1 1 d、又は 1 1 e から順次クリックしていく手順が面倒であるという向きのクライアントに対しては、より簡単に読みたい本又は読むに値する

と思われる本を見つけ出す場を提供することが可能である。

【 0 0 7 4 】

これは、書評の掲載数によって、つまり書評の掲載数が多いことはその書籍の評判が良いという前提に基づいて書籍を選択することが出来る場も提供される。この場合は、図 5 に示した最初の表示画面上で、左下端の「本の評判の程度」の選択用操作ボタン 1 1 k を押すようにする。

【 0 0 7 5 】

これにより、特には図示しないが、先ず「書籍別」、「著者別」、「出版社別」、「書籍のジャンル別」等の選択用操作ボタンが表示される。ここで、例えば「出版社別」を押すと、図 1 7 (a) に示すような表示が画面に表示される。同図 (a) に示す例では、左欄に出版社名が A A 社、B B 社、C C 書店、・・・、Z Z 書店と列記され、右欄に、これらの出版社が刊行した書籍で、新聞や雑誌に書評を掲載された回数の所定期間内の総件数が出版社毎に降順に表示されている。但し、場合により、順位だけを表示し、掲載件数を表示しない場合もある。

【 0 0 7 6 】

同図 (a) の例ではトップの A A 社が刊行した書籍で書評が掲載された回数が 1 4 7 6 5 回となっている。次の B B 社は、刊行した書籍で書評が掲載された回数が 1 1 5 4 回であり、これからすると、A A 社で刊行した本の評判が一番よさそうだという判断も成り立ち、これによって探すべき本を A A 社で刊行した本に絞ることができ、読みたい本を探すことが比較的容易になる。

【 0 0 7 7 】

上記の図 1 7 (a) の表示は、「出版社別」が選択された場合の表示例であるが、「書籍別」が選択された場合は左欄には書評が掲載された書籍名が列記され、「著者別」が選択された場合は著者名が列記され、「書籍のジャンル別」が選択された場合は書籍のジャンルが列記される。

【 0 0 7 8 】

尚、図 1 7 (a) の表示において、同図のように左欄に出版社名が表示されているときに所望の出版社名をクリックすると、図 6 のステップ S 3 から移行したときの表示処理 H 1 の処理を行うようにしてもよい。また、図 1 7 (a) の表示で左

欄に書籍名が表示されているときに所望の書籍名をクリックすると、図6のステップS1から移行した表示処理H1の処理を行うようにしてもよい。

【0079】

更に、同様に、図17(a)の表示で左欄に著者名が表示されているときに所望の著者名をクリックすると、図6のステップS2から移行した表示処理H1の処理を行うようにしてもよく、同様に、図17(a)の表示において左欄に書籍のジャンルが表示されているときに所望の書籍のジャンルをクリックすると、図11の表示処理H12の処理を行うようにしてもよい。

【0080】

また、このように書評の掲載件数ではなく、他のクライアントが選択した回数によって読みたい本を探しだすようにしてもよい。つまりヒット数が多いことはその書籍の評判が良いという前提に基づいて書籍を選択することが出来る場を提供するようにする。この場合は、図5の表示の左下端の「本の評判の程度」ボタンを押すと、先ず、「書評」と「ヒット数」の2つのボタンが表示され、「書評」が選択されると上述した「書籍別」、「著者別」、「出版社別」、「書籍のジャンル別」等の選択用操作ボタンの表示や図17(a)の表示が行われるようにする。

【0081】

そして、「ヒット数」が選択された場合は、特には図示しないが、先ず、例えば「雑誌ジャンル別」、「雑誌別」、「書籍ジャンル別」、「書籍別」、「著者別」、「出版社別」等の選択用操作ボタンの表示を行う。そして、これらの中から選択された分類に従って図17(b)の表示を行うようにする。

【0082】

同図(b)は、書籍別の選択用操作ボタンが押された場合の表示の例であり、左欄にはヒット数の多いものから降順に、**な男、△△の物語、〇〇の女性たち、・・・などの書籍名が列記され、右欄にはそのヒット数が21回、18回、・・・と順次列記されている。尚、この場合も、ヒット数は表示せず、順位のみを表示するようにしてもよい。

【0083】

いずれにしても、この表示を見るだけで、ヒット数の多さ又は順位と書籍名から適宜に判断して所望の書籍名を読みたい本として抽出する、又は読む値のある本と判断することが容易にできる。

また、この場合も、図 1 7 (b) の左欄の書籍名をクリックすると、図 6 のステップ S 1 から移行した表示処理 H 1 の処理を行うようにしてもよい。他の雑誌ジャンル別、雑誌別、書籍ジャンル別、著者別、又は出版社別が選択された場合も同様である。

【 0 0 8 4 】

このようなヒット数による分類も、最初の出発は書評が掲載された書籍の分類・統計からクライアントが判断して選択した回数が集積されたものであり、いずれにしても、この書評データベースは書籍の書評を基盤にして蓄積されている。

本発明は、このような書評を基盤とした統計に基づいて、読みたい本を容易に見つけ出すことのできる場を提供するものである。また、この方法は、C D、T B、B S その他のメディアによって提供される各種の情報にも適用可能である。

【 0 0 8 5 】

尚、上記実施の形態では、子ページの表題を「本の評判」、「C D の評判」などと表示しているが、これに限ることなく、ホームページの名称は適宜に変更されるものである。また、メニューについても同様である。

【 0 0 8 6 】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明によれば、ネットワーク上においてサーバからクライアントに書評の各種統計データの中の任意の統計データを提供するので、クライアントは読みたい書物を容易に抽出できる機会が得られ、これにより、従来通信料金の高価なネットワーク上で書評や紹介記事を自分で探し出し、その内容を頼りに読みたい本を探し出すという時間の掛かる操作が不要となり、経済的であると共に便利である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

一実施の形態における書評検索システムのブロック図である。

【図 2】

書評検索システムのサーバの記憶装置に格納されている書評データベースの 1 個のレコードのデータ構成を示す図表である。

【図 3】

書評データベースのレコードのデータを作成する作業手順を示すフローチャートである。

【図 4】

クライアントがブラウザを起動してサーバにアクセスしたときのトップページから変化していく概略の流れを示す図である。

【図 5】

トップページから分岐する子ページのうちの 1 つである「本の評判」のページの表示例を示す図である。

【図 6】

クライアントによって「本の評判」のページのキーワード検索のボタンが押された場合の動作を説明するフローチャートである。

【図 7】

(a), (b) は動作フローの中で用いられる表示の例を示す図（その 1）である。

【図 8】

動作フローの中で用いられる表示の例を示す図（その 2）である。

【図 9】

動作フローの中で用いられる表示の例を示す図（その 3）である。

【図 1 0】

動作フローの中で用いられる表示の例を示す図（その 4）である。

【図 1 1】

クライアントによって「本の評判」のページの書籍ジャンル検索のボタンが押された場合の動作を説明するフローチャートである。

【図 1 2】

書籍ジャンル検索の動作フローで用いられる書籍ジャンルの表示例を示す図である。

【図 1 3】

クライアントによって「本の評判」のページの新聞雑誌名検索のボタンが押された場合の動作を説明するフローチャートである。

【図 1 4】

(a),(b) はそれぞれ新聞雑誌名検索の動作フローの中で用いられる表示の例を示す図(その 1、その 2)である。

【図 1 5】

(a),(b) はそれぞれ新聞雑誌名検索の動作フローの中で用いられる表示の例を示す図(その 3、その 4)である。

【図 1 6】

(a),(b) はそれぞれ新聞雑誌名検索の動作フローの中で用いられる表示の例を示す図(その 5、その 6)である。

【図 1 7】

(a),(b) は「本の評判の程度」の選択用操作ボタンのクリック操作で表示される画面表示の例を示す図である。

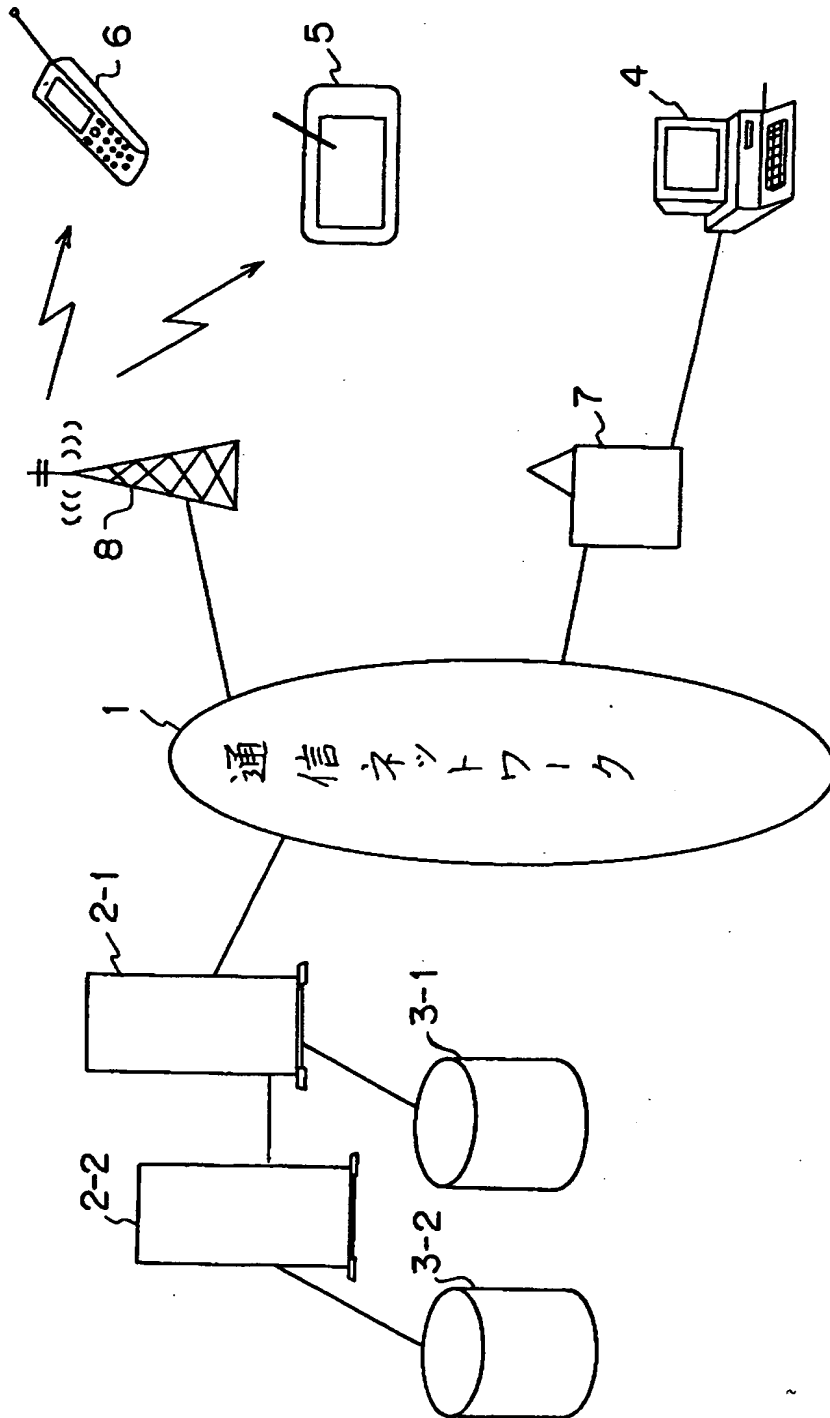
【符号の説明】

- 1 通信ネットワーク
- 2-1、2-2 サーバ
- 3-1、3-2 記憶装置
- 4 パーソナルコンピュータ
- 5 電子手帳
- 6 携帯電話
- 7 電話局
- 8 無線基地局
- 9 レコード
- 10 サーバのトップページ
- 11 子ページの「本の評判」のページ
- 11-1、11-2、11-3、・・・ 本の評判の孫ページ
- 11a レイアウト

- 1 1 b ページの題名
- 1 1 c ~ 1 1 k 選択用操作ボタン
- 1 2 子ページの「CDの評判」のページ
- 1 3 子ページのその他のページ
- 1 5 書名の入力窓
- 1 6 著者名の入力窓
- 1 7 出版社名の入力窓
- 1 8 書籍一覧例
- 1 9 掲載新聞・雑誌一覧例
- 2 0 書籍と書評の詳細表示例
- 2 1 書籍ジャンルの表示例
- 2 2 書評掲載号一覧表示例
- 2 3 書籍一覧例
- 2 4 書籍と要約の詳細表示
- 2 5 同書検索ボタン
- 2 6 同一書籍一覧例

【書類名】 図面

【図 1】

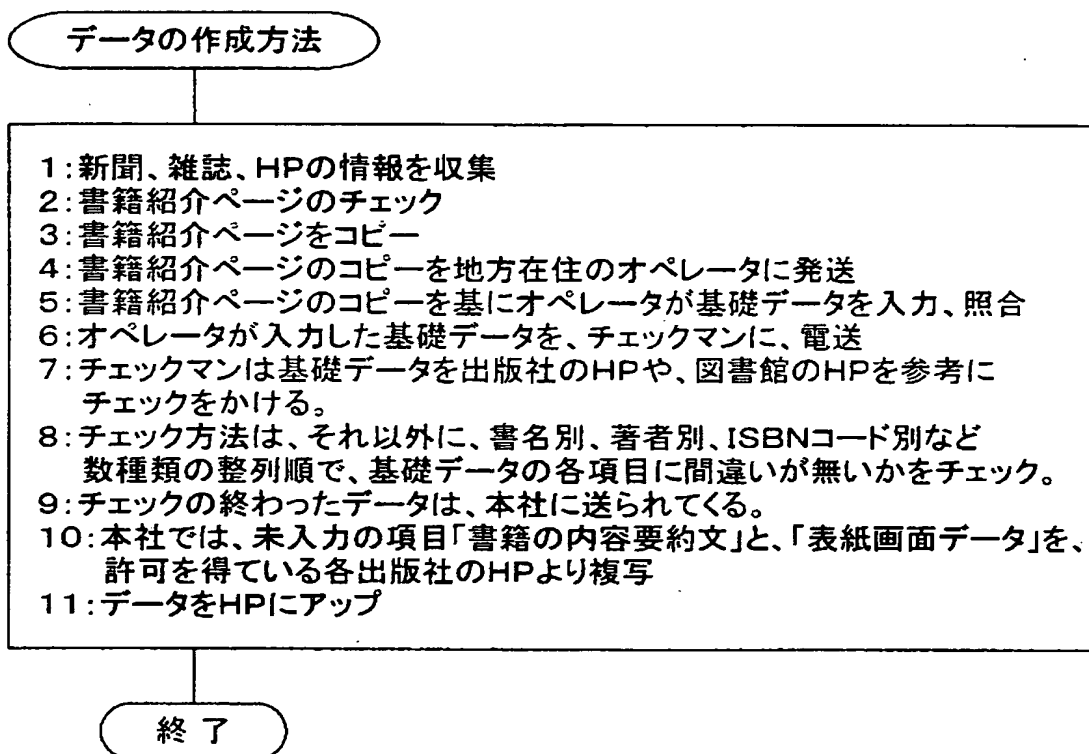


【図2】

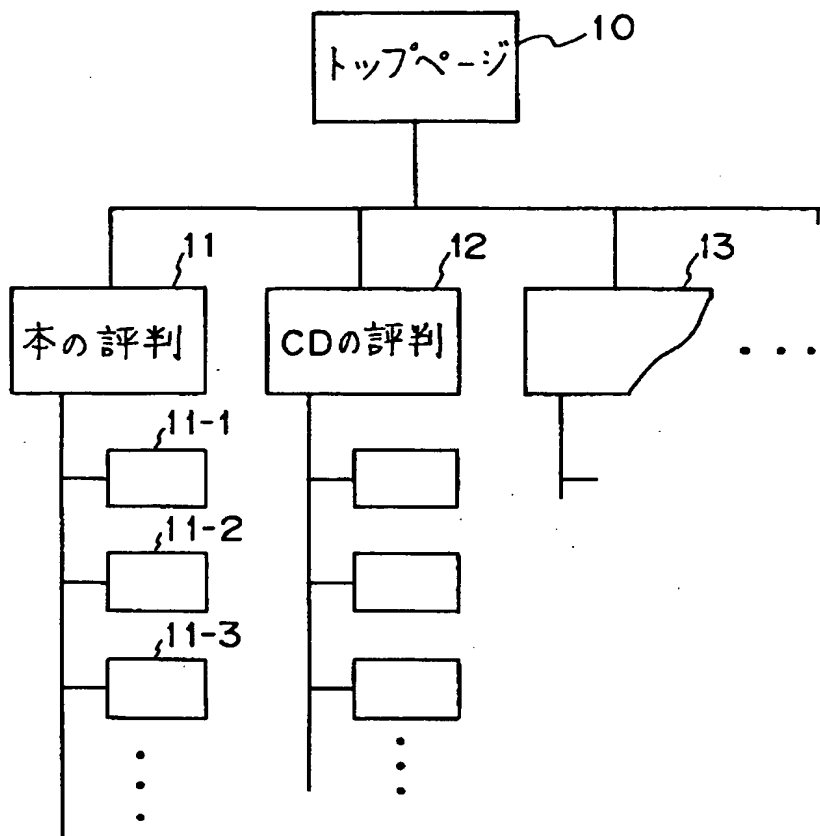
9
15

	項目名	データ型	項目種別
1	No.	文字列	基本
2	掲載誌(紙)のジャンル	文字列	基本
3	掲載誌(紙)名	文字列	基本
4	ヨミガナ(誌名)	文字列	基本
5	掲載誌(紙)発行日	文字列	基本
6	掲載誌(紙)発売日	文字列	基本
7	年月次	文字列	基本
8	刊行頻度	文字列	基本
9	掲載誌出版者	文字列	基本
10	掲載ページ	文字列	基本
11	雑誌コード	文字列	基本
12	ジャンル	文字列	基本
13	ジャンル1	文字列	計算
14	ジャンル2	文字列	計算
15	ジャンル3	文字列	計算
16	ジャンル4	文字列	計算
17	書名	文字列	基本
18	ヨミガナ(書名)	文字列	ふりがな
19	編著者名	文字列	基本
20	著者	文字列	計算
21	出版者	文字列	基本
22	出版年月	文字列	基本
23	発行元	文字列	基本
24	発売元・問合せ先	文字列	基本
25	叢書・シリーズ・掲載書誌名	文字列	基本
26	定価(円)	文字列	基本
27	本体価格	文字列	基本
28	税	文字列	基本
29	ISBN	文字列	基本
30	形態	文字列	基本
31	評者・選者	文字列	基本
32	備考	文字列	基本
33	外字(★)	文字列	基本
34	不明	文字列	基本
35	作業年月日	文字列	基本
36	担当者	文字列	基本
37	作業No.	文字列	基本
38	データコード	文字列	計算
39	内容要約文	文字列	基本
40	書籍紹介文	文字列	基本
41	Eテキスト	文字列	計算
42	Eコード	文字列	基本
43	Eコード文字	文字列	基本
44	Eコード数値1	数値	基本
45	Eコード数値2	数値	基本
46	作業項目	文字列	基本
47	画像チェック	数値	基本

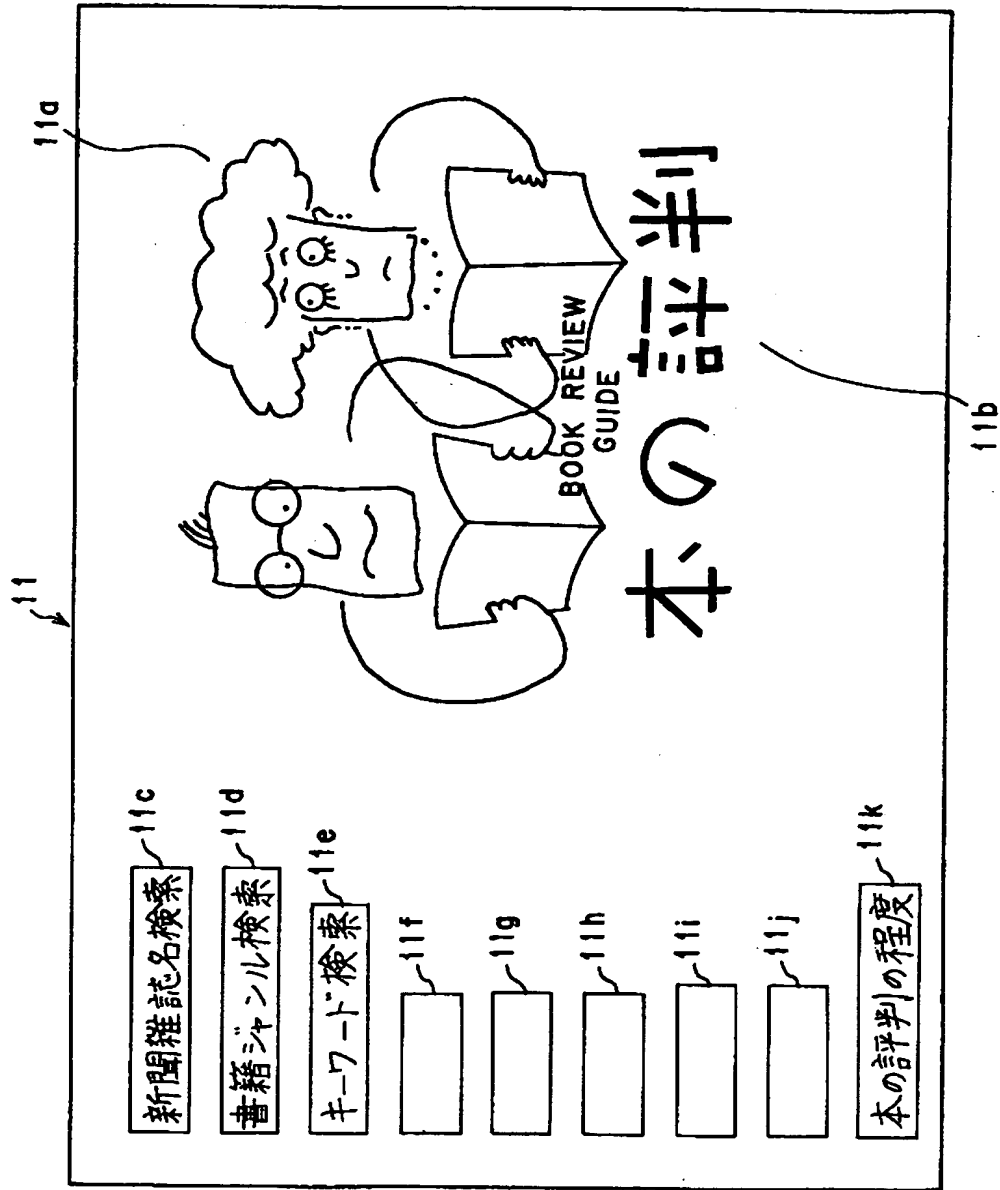
【図3】



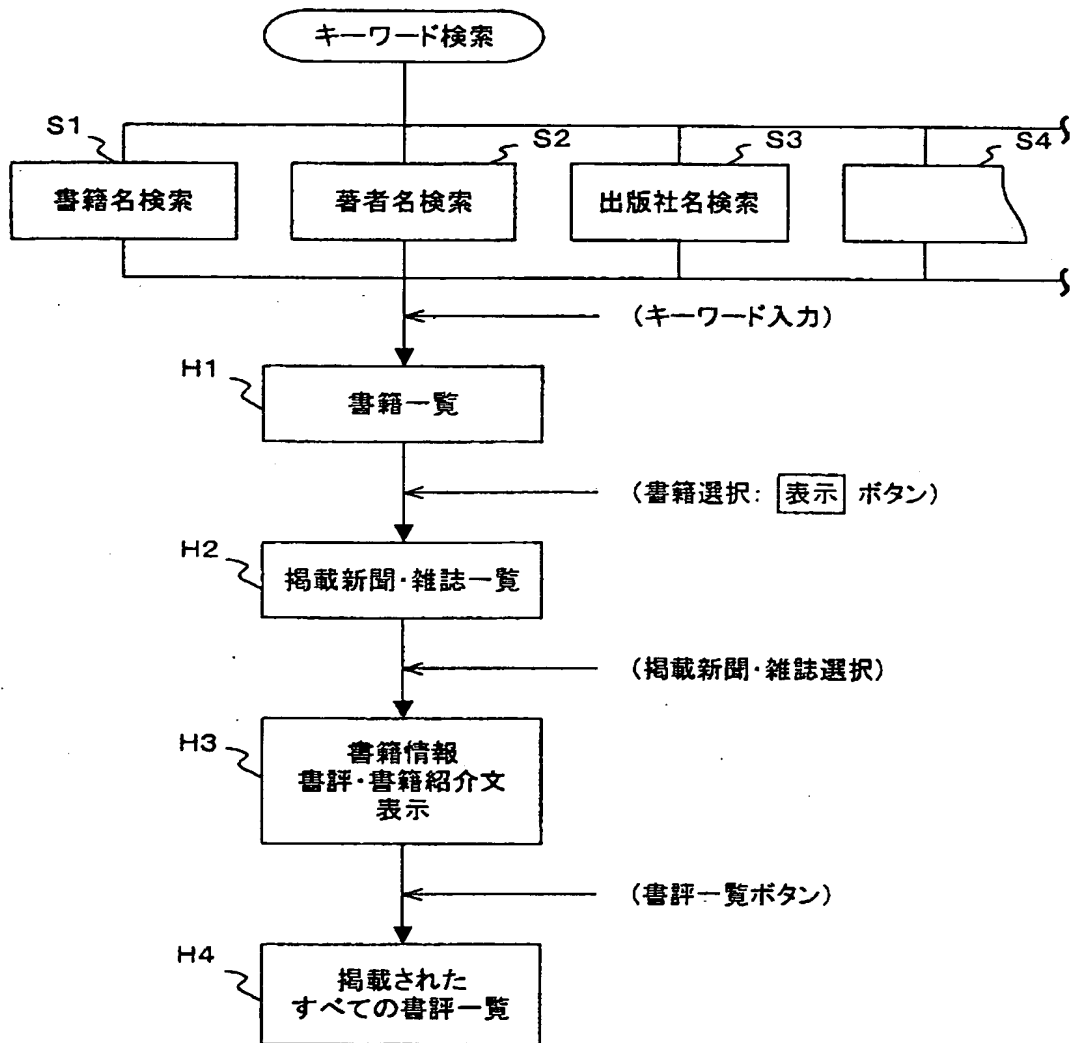
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

書 名 15

著 者 16

出 版 社 17

(a)

18 ↙

書籍名	著者(編者)	出版社	書籍 ジャンル	掲載数	形態	マーク	
迷う明日	□野△夫著	AA社		1			表示
明日の歴史	×原○子著	BB書店		8			表示
				1			表示
				9			表示
				1			表示
				1			表示
							表示

(b)

【図8】

19
↙

掲出メディア	掲出日	評者	書評
FF新聞	2000年01月	◎川○男	
GGマガジン	2000年01月号	△寺×次郎	
	1999年12月05日号		
	1999年12月号		
	1999年11月11日号		
	1999年10月20日号		

【図 9】

20

20-1


迷う明日	
著者(編者)	□野△夫著
出版社	AA社
価格(税別)	1,500
ISBN	4-06-209700-1
形態	新書
シリーズ名	新書
マーク	
評者	◎川○男
掲載誌(紙)	FF新聞
掲載号	20000206
掲載ページ	312ページ

20-2

20-4

20-3

【図10】

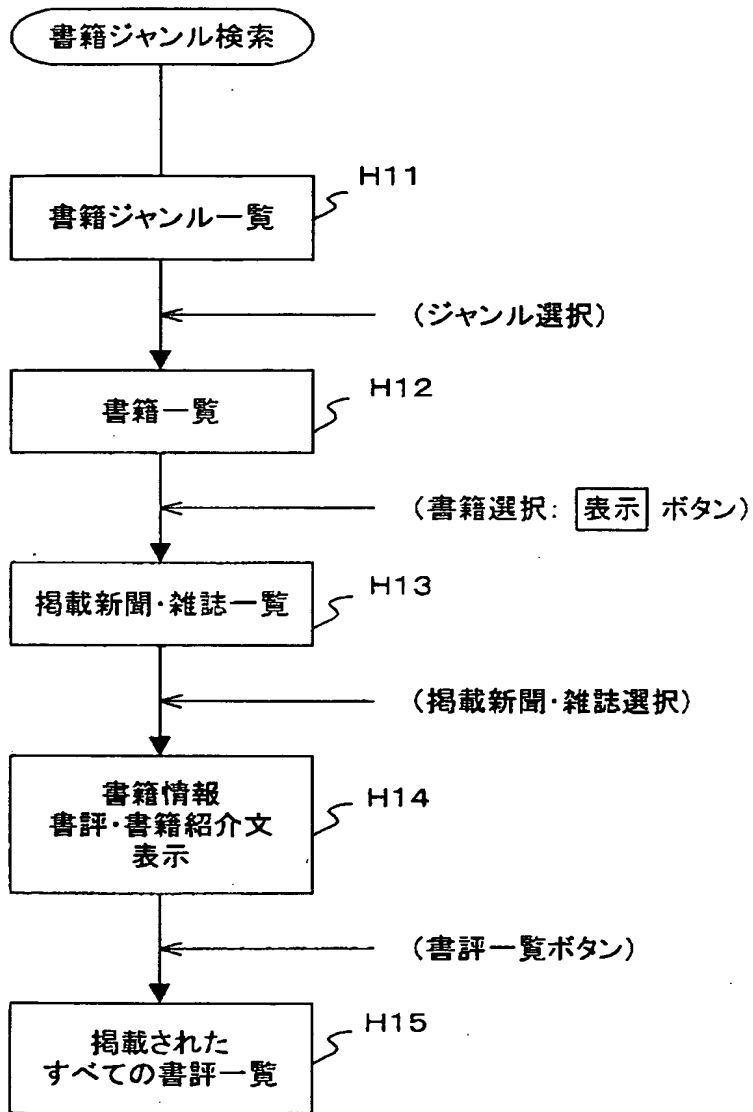
	迷う明日	
	著者(編者)	□野△夫著
	出版社	AA社
	価格(税別)	1,500
	ISBN	4-06-209700-1
	形態	新書
	シリーズ名	新書
	マーク	

- 掲載誌(紙):FF新聞／掲載号:20000206／評者:◎川○男

- 掲載誌(紙):週刊××／掲載号:20000314／評者:□山××子

- _____}

【図 11】

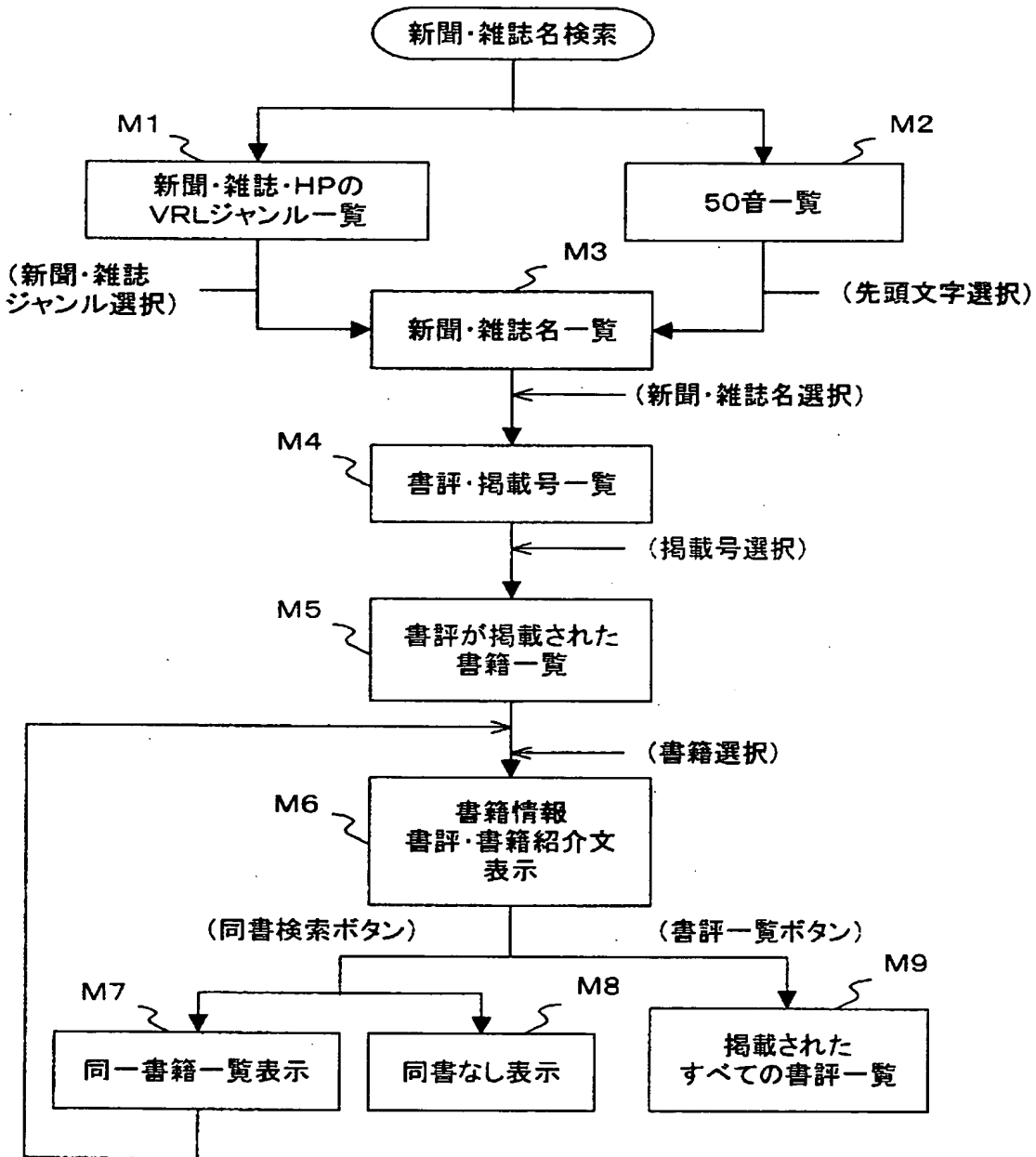


【図12】

21
↙

<p> 医学・病気・医療 エッセイ・対談 映画・演劇・古典芸能・音楽 芸能界・マスコミ 金7融・マネー・税金 ミステリ・冒険・H. ボイルド SF・ファンタジー 歴史・時代小説 ルポ・ノンフィクション 料理・グルメ 芸術・美術・ビジュアル・写真集 旅行・ガイドブック・紀行・地図 コミック 歴史・地理 資格・就職・労働 伝記・評伝・自叙伝・書簡・日記 言語・語学・会話・辞書 生活・美容・健康 教育・学校・家庭 人生訓・処世術 自然科学・地理・宇宙 百科辞典・全集 ション </p>	<p> 動物・ペット 絵本・児童書 経済・産業 ビジネス・経営 政治・時事問題 ホラー・クライム 小説 文学全般・古典・文学史 趣味・実用書 建築・住宅・インテリア スポーツ・アウトドア コンピュータ・CD-ROM 哲学・思想・心理 サイエンス・テクノロジー 占い・精神世界 社会・文化 環境・エコロジー 福祉・老人・厚生 宗教・民族・人類 読書案内・書評・出版 法律・人権・差別 詩・和歌・俳句 結婚・ </p>
---	---

【図 13】



【図14】

総合週刊誌	自然科学・社会科学
一般総合誌	健康・医学
男性ファッション誌	美術・芸術・デザイン
趣味・スポーツ	情報誌
コンピュータ・ マルチメディア	女性総合誌
映画・音楽・演劇	文芸・文学・小説
女性週刊誌	経営・ビジネス・ マスコミ・宣伝
女性ファッション誌	生活・育児・教育・料理

(a)

あ	か	さ	た	な
は	ま	や	ら	わ

(b)

【図15】

週間××

22

- ◎ 2000年03月26日号
 ○ 2000年03月19日号
 ○ 2000年03月12日号
 ○ 2000年03月05日号
 ○ 2000年02月27日号
 ○ 2000年02月20日号
 ○ 2000年02月13日号
 ○ 2000年02月06日号
 ○ 2000年01月30日号
 ○ 2000年01月23日号
 ○ 2000年01月16日号
 ○ 2000年01月02日号
 ○ 1999年12月26日号
 ○ 1999年12月19日号
 ○ 1999年12月12日号
 ○ 1999年12月05日号

(a)

23

週間××

2000年03月26日号

詳細は書名をクリックして下さい。

著者名	著者(編者)	出版社	書籍ジャンル	形態	マーク
今年の△△	□□△△著	BB社	詩・和歌・俳句		
〇〇の朝	〇〇××著	SS書房	詩・和歌・俳句		
		文藝△△	小説		
		〇〇書店	ミステリ・冒険・H. ホイット		
		AA新聞社	ミステリ・冒険・H. ホイット		
		××社	伝記・評伝・自叙伝・ 書簡・日記		
		CC社	自然科学・地学・宇宙		
		DD書店	政治・時事問題		
		中央××	小説		
		〇〇社	政治・時事問題		

(b)

【図16】

24

今年の△△		24-1
著者(編者)	□□△△著	
出版社	BB社	24-2
価格(税別)	1,500	
ISBN	4-06-209700-1	
形態	新書	
シリーズ名	新書	
マーク		
評者	◎川○男	
掲載誌(紙)	週刊××	
掲載号	20000404	
掲載ページ	31ページ	
		24-4

25

24-3

同書検索

(a)

今年の△△

××冊見つかりました雑誌名をクリックすると詳細が見られます。

26

掲載誌	掲載号	評者	書評
週刊××	2000年02月15日号	○○取材/文	
○○新聞夕刊	2000年02月12日号		
△△新聞朝刊	2000年02月13日号		
週刊○○	2000年02月19日号		
週刊△△	2000年02月25日号		
BBマガジン	2000年02月23日号		
××新聞夕刊	2000年02月17日号		
週刊CC	2000年03月03日号		
週刊DD	2000年03月16日号		
	2000年03月26日号		

(b)

【図 17】

書籍出版社	書評を 掲載された件数
AA社	14765
BB社	1154
CC書店	1075
DD書店	766
EE新聞社	574
FF舎	528
GGハウス	374
HH新報	365
I マガジン	303
KK出版社	291
LL出版局	253
MM書房	249
・	・
・	・
・	・
ZZ書店	41

(a)

書籍名	ヒット数
* * な 男	21
△△の物語	18
○○の女性たち	16
××の風景	15
□□の達人	15
* * の祭典	14
△△軍団	12
○○料理帖	10
・	
・	
・	
××の世界	6

(b)

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 読みたい書籍を容易に選択できる書籍データ検索システムを提供する。

【解決手段】 ネットワーク 1 に接続されたサーバ 2 の記憶装置 3 には多数のレコード 9 が集積された書籍データベースが構築されている。レコード 9 には、書評の対象となった書籍の名称、読み仮名、ジャンル、著者名、出版者名、出版年月、発売元、形態、定価、本体価格、表紙等に係わるデータ並びに書評の掲載メディアの名称、ジャンル、掲載年月次、評者名、掲載ページ等に係わるデータを備えている。クライアントは書評を掲載したメディアのジャンル、メディア名、書評を掲載された書籍のジャンル、又は書籍名から検索を開始して、最終的に書名と表紙と書評を表示させることができる。また、所定の期間中に書評が掲載された回数やクライアントにより選択されたヒット回数を、各種分類毎に表示させることができる。

【選択図】 図 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500251319]

1. 変更年月日	2000年 5月31日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区岩本町3-9-17
氏 名	株式会社エビデ